

一般質問

ここが聞きたい!!

聞きたい!!

4人の議員が登壇!



答弁中の中嶋町長



藤石 豊 議員

最近の新聞テレビ等によるマスコミ報道は、学校現場を取り巻く事件や事故のニュースがほとんどで時代背景と教育のあり方を改めて考えさせられる今日この頃です。一番新しいところでは、山口県の県立高校の教室に同じ学校の生徒が手製の爆発物で起こした傷害事件で、学校教育関係者はもちろん、全国の人々に大変な影響を与えたシヨッキングな事件として報道されました。何か事件が起きた時で

問

もう一度考えよう教育のあり方
答 教育施策要綱の項目を着実に推進していきます

は遅いのですが、今回は学校教育・社会教育・家庭教育の三位一体の取り組みの必要性を痛感したところです。これらを勘案して、須恵町の取り組み・考え方や対策をお聞かせ下さい。

答 東 教育長

今回の事件というのは、高校における特異な状況下での事件であり、このことで本町の教育指導が大きく変更されるとか、特別な対応策を講じるといったことは考えていません。

それよりも、「平成十七年度の須恵町教育施策要綱」のそれぞれに掲げている項目を着実に推進していくことが何よりも大切であると考えています。

次の時代を担う青少年を取り巻く環境は、必ずしも良好であるとはいえないと思っております。だからこそ御指摘のように学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を自覚し、その役割と責任を果たすとともに、三者が連携して青少年の健全育成に取り組むことが何よりも重要であると考えています。



平成17年度 須恵町教育施策要綱

本町が取り組んでいる校区コミュニティ、これは地域住民が助け合い交流しながら、明るい住み良いまちづくり、地域づくりを目指している、そういう意味では、まさに三者の連携がなされているものではないかと確信しています。



今村 桂子 議員

問

介護保険が高齢者の尊厳を守り、自立支援を強化・具体化する予防重視型へと転換。改正では、要支援と要介護一の軽度者対象に新設の「新予防給付」と要支援・要介護になる前の高齢者対象に市町村が行う「地域支援事業」の二本立て。筋力トレーニング、口腔ケア、栄養指導、転倒予防訓練など市町村設置の「地域包括支援センター」で来年度から実施しなければならない。実施の方向性、施設・設備・器具等、実施訓練内容、ケア人材の育成、実施中のミニデイサービス



介護予防事業「わくわくデイサロン」

かから社会福祉協議会を筆頭に考えていきます。施設・設備・器具等マシンの設置は考えていないし、実施訓練内容についてもこれからの課題であろうと思います。ケア人材育成については、現在実施している政区ミニデイサービス・わくわくデイサロン・福祉協議会で創設している小地域ボランティア、さらにはレクリエーションインストラクター養成

問

介護保険改正における町の取り組みは
答 社会福祉協議会を筆頭に取り組みます

ス・わくわくデイサロンの継続、急速に表面化している高齢者虐待の実態把握や防止策について質問します。

答 中嶋 町長

方向性・設置については、公正・中立・効率的に遂行するという観点